

平成31年3月5日

平成31年第1回桂川町議会定例会

行政報告、施政方針及び提案理由の説明

おはようございます。

桜のつぼみも膨らみはじめ、春の息吹が感じられる季節になりました。

今年は、「平成」最後の年であり、5月からは新しい「元号」の時代が始まります。

新しい時代への期待は大きなものがありますが、国際情勢の複雑な変化、科学技術の目覚ましい進化発展に対する対応、現代社会が抱える新たな課題解決など、時代の変化に即応した取り組みが求められています。

また、今年は選挙の年でもあります。4月の統一地方選挙は、県知事、県議会議員選挙が7日、市町村関係選挙は21日に行われ、7月には参議院議員選挙もあります。

そして、東京オリンピック、パラリンピックも開催まで1年と5カ月を切り、施設の準備と共に出場選手の選考・決定など、今後ますます注目度が高まっていくものと予想されます。

桂川町では、来年の4月17日に町制施行80周年を迎えます。一つの節目の年としての記念事業について検討したいと考えているところです。

さて、本日は、平成31年第1回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、公私ともお忙しい中にも拘わりませず、ご出席をいただき心から感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告、平成31年度施政方針及び本日もご提案します議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、現在、副町長として勤務していただいています森山一平氏の任期が今月末日で満了となります。森山氏にはこの4年間、本町の発展のためにご尽力をいただきありがとうございました。なお、後任につきましては、本日の

定例会に提案することができていません。後日、改めまして提案したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

次に、教育委員の任命については、本年2月23日をもって田牧壮平委員の任期が満了となりましたので、その後任として、皆越美奈子氏を提案していますので、よろしくお願いいたします。

次に、本年3月31日をもって退職します職員は、保育士4名の予定です。このうち3名は定年によるものですが、1名は自己都合による依願退職になります。また、4名のうち2名は再任用職員として勤務することになっています。なお、4月1日採用予定者は、保育士1名を内定しています。

次に、平成29年5月に地方公務員法等の改正により、平成32年4月から「会計年度任用職員」という新たな任用制度がスタートします。この制度の施行により、本町の臨時的任用職員等の任用形態が変わることになりますが、スムーズな制度移行ができるように準備を進めていきたいと考えています。

次に、防災に関する取り組みの一環として、本町の防災会議の充実を図るため、会議のメンバーに女性の参画を求めたいと考えています。現在のメンバーは国・県の関係機関や消防、自衛隊、警察、自主防災組織等の代表者で構成されていますが、20名の中で女性は一人です。女性の視点から防災対策を推進するためにも、女性の参画を推進していきたいと考えています。

次に、空き家対策については、本町の空き家の状況を把握するため、「空き家実態調査」を実施いたしました。今回の調査によりますと、空き家と推定される建物は461棟で、このうち、いわゆる母屋と言われる建物は287棟となっています。また、活用が困難で解体が望ましい建物が8棟となっています。こうした結果を参考にしながら、今後の空き家対策について検討・協議をする必要があると考えています。

次に、地方創生の総合戦略を平成27年度に策定し、人口ビジョンとともに将来にわたって活力ある地域社会を創生していく計画として取り組みを進めてまいりました。4本の柱を基本に置いて、桂川駅南側道路整備や桂川駅舎の改築及び自由通路等の設置、ゆのうら体験の杜のオープン、地域商社いいバイ桂

川の設立、王塚装飾古墳館の案内充実など、道半ばの事案もありますが、全体として大きな成果が得られたと認識しています。

平成31年度は計画期間の5年目を迎えます。町の主な事業の進捗状況に鑑みながら、これからの課題を整理し平成32年度からの新たな計画策定に取り組むたいと考えています。

次に、平成24年度から重要事業として取り組んできました町道山崎・上深町線いわゆる桂川駅南側道路は、供用開始に向けて着実に工事が進んでいます。国道200号線の旧諫山医院前の豆田歩道橋交差点の改良に伴い、右折禁止などの新たな交通規制が発生しますので、周辺地区及び利用者への周知に努めているところです。

次に、JR桂川駅舎の改築及び自由通路等整備工事については、現在、九州旅客鉄道株式会社と事前打合せを重ねているところでございます。本年4月から仮駅舎や施工ヤード整備などの工事が始まり、2021年3月の完成を予定しています。今後の進捗状況につきましては、適宜、報告してまいります。工事期間中は、駅利用者や周辺地域の皆さまにご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、こうした事業の進展に伴い、周辺の新たな動きとして、大塚歯科医院の移転及びマンション建設や株式会社・麻生の宅地分譲など、いわゆる民間活力の導入が効果として表れていますことは、大変喜ばしいことであると存じます。

なお、株式会社トライアル・カンパニーから開発事業の事前協議書が平成31年1月29日付けで提出され、現在、手続きを進めているところでございます。協議がまとまれば来年春のオープンに向けて、造成工事等に着手する意向であります。

次に、県道豆田稲築線につきましては、来年春の供用開始に向けて、順調に工事が進んでいます。課題の一つでありました桂川町商工会館は新築移転し、去る1月26日には落成式が執り行われました。そして、現在は旧商工会館の解体が始まり、いよいよ役場横交差点から嘉穂総合高校そして旧上山田線まで

眺望できるようになります。

また、泉河内川に新しく架かる橋の名称を募集しましたところ、24点の応募があり、この中から「平成七瀬橋」が選考されたところでございます。

次に、本町の都市計画道路でありますシカヤ飯塚牟田線の一部区間について道路計画の変更手続きを行い、完了しました。この区間は、桂川町役場前交差点から国道200号線の豆田歩道橋交差点までの約1,220mについて、全幅員を16mから14mに変更するとともに、約500m区間については道路法線の変更をするものです。このことにつきましては、地元説明会等を行うとともに都市計画審議会の同意を得て、本年2月13日付けで県知事の同意を得たところです。

本町としましては、現在、県事業で取り組んでいただいております県道豆田稲築線・土師工区に引き続いて、この区間も県事業として実施していただくよう強く要望しているところです。

次に、今年の9月末日をもって西鉄バス路線が廃止及び減便されたことに伴い、嘉麻市のコミュニティバスの利用者に対して補助を行っているところですが、今年の4月1日から桂川駅と嘉麻市稲築方面を結ぶ路線が1日11往復、運行することになりました。

今後とも、広域的な公共交通の連携を図り、町民の皆様の利便性の確保に努めていきたいと考えております。

次に、昨年7月の豪雨による災害復旧工事の2月末時点の取り組み状況について報告いたします。国の補助事業で実施する災害箇所31カ所のうち17カ所については復旧工事の発注を行い、そのうち7カ所は完成しました。町の単独事業として実施するものは50カ所程度あり、そのうち18カ所の工事を発注し、8カ所が完成しています。引き続き、できるだけ早い時期に工事が完了するよう努力してまいります。

また、狩野ため池は2月末で復旧工事が終わり、山ノ口ため池の工事の進捗率は約70%となっています。

JR原田線の災害復旧工事につきましては利用者の方にご心配をおかけしま

したが、マスコミ等で報道されていますように、3月9日から運行を再開するようになっています。

次に、町営住宅二反田団地A棟への引越しについては、順調に進んでいます。来年度以降は、財政状況に配慮しながら、B棟建設に向けて準備を進めていく計画でございます。

次に、環境施設等の広域化に関する取り組みにつきましては、平成29年4月から、財政負担の軽減や環境負荷の低減を図ることを目的に、環境施設等の広域化に関する任意協議会を設置し、「飯塚市・桂川町衛生施設組合とふくおか県央環境施設組合の統合に関すること」「飯塚市及び嘉麻市の直営環境施設等を統合後の一部事務組合への移管に関すること」について協議を進めてまいりました。

必要な協議が全て整い、本年2月13日付けで新たな一部事務組合を設立することについて福岡県の許可承認を受けました。これに伴い4月1日からは「ふくおか県央環境広域施設組合」として、2市2組合がそれぞれ管理している施設の一元管理を行い、今後進行すると思われる人口減少への対応及び資源循環・環境共生型社会の実現に向けて、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を図ってまいります。

なお、今回の新たな一部事務組合設立に伴うゴミの出し方やし尿処理の料金などの変更はありません。

次に、国民健康保険事業では、医療費を分析した結果、飯塚医療圏の国保加入者は、糖尿病などの生活習慣病の割合が県平均より高いという課題が明らかになっています。

このような健康課題を飯塚医療圏全体で解決するため、飯塚医師会と連携し、平成31年度からの新規取り組みとして特定健診の二次健診において、糖尿病性腎症の発症・重症化を予防するための尿検査（微量アルブミン尿検査）を導入することにしました。

糖尿病性腎症は悪化すると人工透析が必要になりますが、早期の発見、治療により回避できることから、一定の基準に該当した方全員を対象に実施し、費

用の全額を町が負担します。

次に、福祉に関連する新規の主な取り組みとして、成人男性を対象とした「風しん予防接種助成事業」や、産後間もない母子の支援体制強化のための「産後ケア事業」、国の自殺対策基本法に基づく「自殺対策計画」の策定、介護予防事業の充実のための「健康セミナー」の開催、高齢者等が自動車運転免許証を自主返納した場合の移動手段の支援策として「タクシー利用券の給付」等を行いたいと考えています。

また、現在、支給しています敬老祝い金については、時代の進展と共に「70歳現役主義」が一般的になっていること、福祉施設等の修繕・整備を行う必要があること、他の自治体の支給状況との比較等を勘案し、支給の一部見直しを行いたいと考えています。見直しの内容は70歳の支給を取りやめ、77歳の支給額を1万円にしようとするものです。88歳、99歳、100歳以上はこれまでと変わりません。

なお、地域の身近な相談役であります民生委員児童委員の任期が11月30日で満了となりますので、委員の推薦について積極的に取り組んでまいります。

次に、商工業の振興については、商工会と連携して新たに小規模事業者及び新規創業者支援を行いたいと考えています。これは、株式会社・日本政策金融公庫や福岡県が実施する融資制度を活用した事業者に対する支援で、小規模事業者の活性化を図るものです。

次に、平成30年度のプレミアム付き商品券の発行事業は、購入希望者多数のため、抽選により総額2,200万円の販売を実施しました。順調に事業が実施され2月25日現在で、2,190万5,500円、99.6%が換金されています。

また、平成31年度は、消費税率の引き上げに伴う低所得者及び子育て世帯への影響を緩和すること並びに地域における消費の喚起・下支えを行うため、「低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券の発行・販売事業」が実施されます。対象者は平成31年度住民税非課税者及び3歳未満の子が属する

世帯の世帯主です。

具体的には、9月以降に購入引換券を発送し、2万5千円の商品券を2万円で購入することができるもので、販売は10月からになります。

なお、従来から取り組んできましたプレミアム付き商品券については、国、県等の動向を見ながら、商工会と協議する必要があると考えています。

次に、子ども子育て支援法に基づき、平成27年度に「桂川町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、事業の実施に努めてきたところですが、1期目が31年度で終わるため、平成32年度からの第2期の計画を策定する必要がありますので、関係予算を計上しています。

この計画は、本町の子育て支援施策の現状と将来の動向及び課題を踏まえた上で保護者のニーズを把握し保育及び地域子ども子育て支援事業の見込み及び具体的な目標設定を行うものです。

なお、本年10月から保育の無償化が実施されることになっていますが、詳細についての通告は受けていません。今後、国・県の対応を注視し、適切に対応して参ります。

次に、水道事業につきましては、昨年12月に「水道法の一部を改正する法律」が成立し、公布されたところです。今回の改正では、水道施設の管理に必要な台帳整備の義務付けと、自治体が運営権を民間企業に売却・委託できる「コンセッション方式」の導入、そして、人口減少や施設の老朽化、防災対策などを念頭に置いた広域連携の推進があります。

平成31年度の予算については、土師浄水場の浸水対策について予算計上しています。昨年の豪雨を教訓に泉河内川及び用水路等からの水の浸入を防ぎ、浄水場内に貯まった水の排水を行うものです。

次に、学校教育のソフト面においては、これまで取り組んできました30人以下学級の実施など、きめ細かな教育指導の継続とともに、桂川町の教育目標

実現に向けた新たな取り組みとして、幼・小・中の12年間をとおした繋がりのある教育課程を編成し、児童生徒の主体的な学びを円滑につないでいくための教育活動の創造に向け、福岡県教育委員会ははじめ関係機関と連携して取り組みを進めてまいります。

また、小中学校のエアコン設置につきましては、昨年の12月議会において交付金の内定通知があったことの報告をしていました。その後、本年2月1日付けで交付決定の通知がありましたので、工事費及び関連予算を平成30年度補正予算第4号に計上しています。

なお、エアコンと同時に要望していました桂川小学校と桂川東小学校のトイレ改修につきましては、2月26日付けで国の学校施設環境改善交付金の内定の通知を受けました。しかし、平成30年度補正第4号の計上に間に合いませんでしたので、平成30年度の補正第5号として追加提案したいと考えています。

次に、子どもたちの体験活動や青少年健全育成の取り組みでは、町全体で子どもたちを見守り、育てる環境づくりを目指し取り組んでいます。「通学合宿」では、「ゆのうら体験の杜」を利用し、体験活動の充実を図り、桂川町ならではの通学合宿を行いました。また、けいせん「夢・人・未来塾」や、子ども会活動など、他の事業においても、子どもたちの体験活動に重点を置いた事業の充実に努めてまいります。

青少年健全育成の取り組みとしては、青少年問題協議会や教育シンポジウムを通じて、各種団体との連携・協力・情報共有の取り組みを強化し、子どもたちを見守る環境づくりを行います。

また、地域コミュニティの活性化を目的として創設しました「地域はつらつ応援助成金」については、公民分館長を中心とした地域活動の活性化を推進するため、情報交換や事業支援の取り組みを強化してまいります。

次に、本町のシンボルであります王塚古墳は、平成2年から特別公開を行っています。そして、平成6年には隣接地に王塚装飾古墳館が開館しました。

王塚古墳の保存施設は完成以来25年以上が経過し、この間、石室を支える支柱の荷重や石室内の温湿度計測など、保存のためのデータ計測を続けていますが、貴重な文化遺産である王塚古墳のさらなる魅力創出を行うため、より効果的な公開・活用方法等について、県文化財保護課や文化庁の協力を得て検討していきたいと考えています。

また、その他の文化財の取り組みでは、現在、平成32年度までの国庫補助事業として天神山古墳の範囲確認調査に取り組んでいるところです。

次に、一般会計予算について、概略のご説明をいたします。

まず、平成30年度補正予算第4号ですが、補正額2億1,602万1千円を追加し、予算の総額を67億3,291万8千円と定めるものでございます。

今回の補正の主なものは、昨年7月の西日本豪雨によって発生した2箇所の山地災害復旧工事については、県の補助事業として実施することになりましたので、その事業費650万円を追加計上しております。

また、小中学校の空調設備については、国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の交付決定を受け、3校合計で2億18万3千円の事業費を追加計上しています。なお、これらの事業は平成31年度に明許繰越を行うものでございます。

この他には、決算を考慮した精算見込等による補正をしています。

以上が平成30年度一般会計補正予算第4号の主な内容でございます。

次に、平成31年度一般会計予算についてご説明いたします。

総務省が示しました平成31年度の地方財政対策の概要としましては、「極めて厳しい地方財政の現状等を踏まえ、歳出面においては、人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととする。また、歳入面においては、経済

財政運営と改革の基本方針2018で示された新経済・財政再生計画を踏まえ、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額について、平成30年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生ずることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないように適切な補填措置を講じることとする。」とされたところです。

このような状況の下、本町の平成31年度予算は対前年度比10.2%減の55億3,088万2千円と定めています。

それでは、歳入予算の主な内容についてご説明します。

まず、最初に、新たな予算項目として9款に環境性能割交付金が設けられたことにより、以降については順次繰り下げになりますのでよろしくお願いします。

次に、1款・町税ですが、前年度実績等を勘案しまして、固定資産税で3.0%、軽自動車税で4.2%、町たばこ税で3.1%の増を見込んでいる一方、町民税においては法人分の減収が見込まれるため0.1%の微増となり、町税全体では前年度に比べ1,916万8千円、1.7%の増となっています。

次に、11款・地方交付税についてですが、地方公共団体に交付される地方交付税の国の総額は1兆6,809億円であり、前年度と比べ1,724億円、1.1%の増となっています。本町の場合、普通交付税におきましては、前年度決定額から1.5%減の16億2,254万1千円を見込んでおり、当初予算として15億6,844万2千円を計上し、財源留保額として5,409万9千円を確保しています。また、特別交付税につきましては、平成29年度決定額から約15%減の2億円を計上しています。

次に、18款・寄附金では、ふるさと応援寄附金として前年度と同額の1,

500万円を計上しています。平成30年度は前年度に比較して、金額では伸び悩みましたが、件数としては増えている状況です。ふるさと応援寄付金は、自主財源の確保に直結する施策でありますので、アピール強化に努めて参りたいと考えております。

また、19款・繰入金では、財政調整基金ほか4基金について、それぞれの設置目的に沿った繰り入れを行っています。なお、教育・保育施設整備基金を新たに設置し、地域振興基金については廃止する旨の関係条例を議案として上程していますので、よろしくお願い致します。

次に、歳出予算についてですが、2款・総務費において、教育・保育施設整備基金の創設に係る積立金や、地方創生総合戦略の改定、5月からの新元号に対応するための電算システム改修、また、西鉄バス路線の運行継続や行政区のAED購入に対する補助等に要する経費を計上しております。

次に、3款・民生費では、社会福祉や障がい者・高齢者福祉など、町民の皆様の社会生活に必要な経費を計上しております。なお、新たな取り組みとして、高齢者等の運転免許証の自主返納を支援するため、タクシー利用券給付費を計上しています。また、土師保育所・吉隈保育所の設備改修や、『第2期子ども・子育て支援事業計画』の策定など、子育て環境の改善・充実を図る経費を計上しています。

4款・衛生費では、各種検診や予防接種、健康増進、食育、ごみ処理など、町民の皆様が健康で衛生的な生活環境を保持するための関係経費を計上しています。また、出産後も安心して子育てが出来る支援体制の確保を図るため、母体の保護、育児の保健指導等を提供する『産後ケア』事業の実施に係る経費を計上しています。

5款・労働費では、嘉麻・桂川広域シルバー人材センター委託料などを計上

しています。

6 款・農林水産業費では、農業次世代人材投資事業補助金や、農地や農業用施設の保全管理活動のための多面的機能支払交付金などの農林業の振興関係費のほか、水利施設の改修事業費を計上しています。

7 款・商工費では、商工業の振興関係費や消費者行政関係経費を計上しています。新たな取り組みとしましては、小規模事業者の経営改善資金や、創業資金に係る融資金に対する利子補給費を計上しております。

8 款・土木費では、道路橋梁の維持・改良費や、J R 桂川駅周辺地区整備事業費、また、町営住宅二反田団地の第 2 期建設事業に係わる関連経費等を計上しています。

9 款・消防費では、飯塚地区消防組合負担金や、町消防団組織の運営・充実に係る経費を計上しております。

10 款・教育費では、小中学校における学力アップ推進事業や 30 人以下学級での教育指導、土曜学習教室等の教育環境の充実を図るとともに、桂川小学校体育館・武道場・図書館に L E D の照明機器を設置するなど施設の改善に努めてまいります。

また、王塚古墳を中心とする歴史遺産の活用など、豊かな心を育む教育と文化の薫り高いまちづくりの推進を図りたいと考えています。

以上が一般会計予算の概要でございます。

今後とも限られた財源で、最大の事業効果が得られるよう努めていく所存でございますので、議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本日ご提案します議案は、桂川町教育委員会委員の任命に関する同意案件が 1 件、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問が 1 件、退職手当組合の規約の変更に関するもの 1 件、基金条例の制定及び廃止に関するもの 2 件、条

例の一部改正に関するもの4件、平成30年度補正予算が2件、平成31年度の一般会計及び特別会計予算が6件、報告が1件の計18件でございます。

人事案件につきましては、私から、その他の議案等につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます。行政報告、施政方針及び提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。